

第 1 回 恵那市総合計画審議会 会議録

日時：令和 6 年 6 月 24 日（月） 午後 3 時～

場所：恵那市役所 災害対策室

- 1 開会
- 2 委員の委嘱
- 3 市長あいさつ
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 会長及び副会長あいさつ
- 6 諮問 資料 NO. 1
- 7 恵那市の現状等について 資料 NO. 2
- 8 議事
 - （1）総合計画審議会の概要について 資料 NO. 3
 - （2）総合計画及び総合戦略の概要について 資料 NO. 4～資料 NO. 6
 - （3）次期総合計画の策定方針について 資料 NO. 7
 - （4）会議の公開及び公表について
- 9 その他
 - （1）個別ヒアリングのお願いについて
 - （2）次回開催予定・・・12 月
- 10 閉会

1 開会

■事務局（進行）

これより令和6年度第1回恵那市総合計画審議会を開会する。

委員18名のうち17名の出席なので、恵那市総合計画審議会規則第4条の規定により、会議が成立していることを報告する。

資料No.3の12ページ、「恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、審議会は原則公開とし、会議録も公表していく。通常は審議会の会長が会議に諮って公開・非公開を決定するが、審議会の会長が選任されていない場合は、市長が会議の公開・非公開を決定すると規定している。第3条に公開の基準を定めている。今回の審議会については、個人情報の取扱いなどがなく、運営に支障が生じないと判断し、公開とする。

2 委員の委嘱

■事務局（進行）

本来であれば、委員一人一人に委嘱状をお渡しすべきだが、時間の関係で、既に机上に委嘱状を配布しているので、確認いただきたい。

委員は、総合計画審議会名簿によって紹介とさせていただく。議事に入ってから審議会の概要や計画の策定方針などを説明する。その後、意見を伺い、自己紹介をいただく時間を設ける。

3 市長あいさつ

■市長

日頃から皆様には大変お世話になっている。ありがとうございます。

いよいよ第2次総合計画が終期に向かい、次の総合計画を作る時期になった。特に、人口に関しては非常に厳しい状況である。

それについて、議論の一つになればと思い、お話しする。

5月の初め、人口戦略会議が消滅可能都市の発表があった。恵那市もこのリストに入っている。何年後かに女性の人口が半数を下回ることが一つの根拠になっている。この議論についてのある記事を紹介したい。その記事では、「今の行政や施策が、自治体同士での限られたパイの奪い合いになっていないか。隣町から人を連れてきたら自分の町は存続するからそれで良いという議論になってないか。」ということを危惧されていた。

この町の現状は、市民の選択の結果だということを考えると、これから先の選択に関しても、自分たちが自分たちの町にもっと関心を持てば、おのずとその結果は出てくるということだろうと思った。行政が悪いとか誰が悪いという話ではなく、関心をもってこの状

況を考えるべきだ。

他の場面では、例えば、SDGsの中で脱炭素や二酸化炭素を減らそうという話もあるが、それ以前に、例えば、携帯電話がいくらで売られていて、それを作るための材料が何で、それがどういう人の手を渡って今ここに来たのかをきちんと考えると、その値段が適正かどうか自然と分かるはずだが、そういうことを抜きにして、安い、高い、機能がいいからということで物を消費したり買ったりすることが本当に良いのだろうかと思う。

これは都市と地方の関係にも当てはまる。都市の人が毎日飲んでいる水や食事は都市だけでは成り立たない。地方の人が米や野菜を都市に供給し、働き手も供給し、それによって都市の生活が成り立っている。そんな中で、地方がこれから立ち行かなくなることが、恵那市だけの問題なのかということにも繋がる。

いろいろな目線を持った中で、恵那市としてどういう町であるべきかを考えていただくいい機会だと思う。この審議会は、そうした議論の最終の議論を頂く場。ぜひ多角的に、皆様のバックボーンから意見を頂き、恵那市にとってすばらしい計画となることをお願い申し上げる。皆様には期待している。

4 会長及び副会長の選出

■事務局（進行）

恵那市総合計画審議会規則第3条の規定により「会長及び副会長は、委員の互選による」とある。まずは会長の選出をお願いしたい。どなたかご意見はあるか。

■委員

事務局案はあるか。

■事務局（進行）

ただいま、事務局案をという意見があった。事務局から推薦してもよいか。

〔 「異議なし」の声あり 〕

■事務局（進行）

それでは、会長職に、中部大学の服部敦様を推薦する。

〔 拍手あり 〕

■事務局（進行）

続いて、副会長の選出に、どなたかご意見はあるか。

■委員

同様に、事務局案はあるか。

■事務局（進行）

事務局から推薦してもよいか。

〔 「異議なし」の声あり 〕

■事務局（進行）

それでは、副会長職に、地域自治区選出の和仁誠様を推薦する。

〔 拍手あり 〕

■事務局（進行）

会長、副会長は、前の席へお移りください。

5 会長及び副会長あいさつ

■会長

中部大学の服部です。恵那市総合計画にもう数年関わっている。そういう縁で御指名いただいたと思う。新しい総合計画を策定するに当たり、3つほど話す。

1つ目は、人口。消滅可能都市というのは数字のことだけ話している。一つ一つの都市を見ているわけではない。一番大事なのは「その地域らしさ」を発揮すること。地域らしさが発揮できれば、数字だけの話ではなくなる。総合計画は地域らしさを発信すること。文化、自然、歴史を持った都市がそう簡単に消滅するわけではない。地域らしさを発信する計画を作ることが重要。

2つ目は、総合計画の名の通り、全体を見ること。世の中は細かく細分化して、それぞれの分野のことばかりで、官、民、学とそれぞれの人の立場で、それぞれに分かれてしまう。そうではなく、いかに分野を越えていくのか。セクターを越え、地域を越えていくのか、ということが大事。それぞれに任せていてはできない、総合的にやらないと発揮できないことをいかにできるかが総合計画の意義。

3つ目は、先を見通していくこと。計画自体は、10年、20年、30年と期間を限って作

っていくものだが、長い先を見て計画を作ることが大事。計画を作れば必ずいいことが起きると信じるのが一番大事。計画には必ず力があり、いい計画を作れば地域を良くしていくと信じている。担当の市の方も、計画の力を信じて、良い計画を作ることに力を合わせてほしい。この計画が策定されるまで力を合わせて進めていきたい。

■副会長

恵那市地域自治区会長会議会長を務めている。この先の恵那市で、子どもたち、若い世代がこの恵那に住んで良かったと思えるような未来像の策定に向けて、この審議会の委員、市の関係者と共に、新たな恵那市総合計画の策定に向けて、慎重に取り組みたい。

6 諮問

■事務局（進行）

市長から総合計画及び総合戦略の策定について諮問する。

会長は自席で御起立ください。市長は会長の横まで移動をお願いします。

[市長より、諮問書（資料1）の通り、諮問]

7 恵那市の現状等について

■事務局（進行）

「恵那市の現状等について」、人口データなどを中心に説明する。

[事務局から資料2に基づき説明]

8 議事

- （1）総合計画審議会の概要について
- （2）総合計画及び総合戦略の概要について
- （3）次期総合計画の策定方針について

■事務局（進行）

これより議事に入る・議事進行については会長にお願いする。

■議長（会長）

議事（１）から（３）について、事務局から説明をお願いします。

〔事務局から資料３～７に基づき説明〕

■議長（会長）

質問があれば。

■委員

資料２の２５ページ、恵那市の上下水道。耐震化率はどれぐらいか。岐阜県が強靱化計画を作っており、恵那市も作るようになっており、動いているはずで、それと総合計画がどういうポジションで動いていくか。強靱化計画とタッグを組めば水道の耐震率も上がると思う。能登半島地震を見ても、水道が断水して水が来ない状況で苦労している。耐震化率を上げることで生活の質が上がる。強靱化に取り込んでほしい。

アウトカムをどこに持っていくかを明記してほしい。

■議長（会長）

今日は初回なので、自己紹介をいただきたい。１分程度を目途に、関心のあることなどを中心にお話しいただきたい。

■委員

私はスポーツの区分。東京オリンピックの際、ポーランドのカヌー選手が笠置峡に練習に来て、あそこにモニュメントを作ってもらった。

■委員

私は都市計画に特化したコンサルタントの仕事で、ごみ処理の関係をやっている。１０年ぐらい前に恵那市のごみ処理の方式を決める委員会にも参加した。ほかに、愛知県江南市でごみ処理施設整備の委員になったことがある。特化した話になってしまうが、ごみ処理関係で総合計画に反映することがあればと思っている。

■委員

私は安全の方での選出。よろしくお願いします。

■委員

福祉分野での選出。福祉だけで考えるのではなく、いろいろな分野を総合計画で一緒になって考えていきたい。福祉、高齢などそれぞれ個別の計画を作っている。そこと整合性が取れるよう力を注ぎたい。

■委員

林業分野での選出。恵那市の半分以上の面積を占める森林をどうしていくか、林業分野だけでなく、いろいろな業界の方と絡みながらやっていけると思う。

■委員

福岡県出身で4年前に移住してきた。子どもが3歳。何かの専門家ということではない。子育て、移住という目線で参加する。恵那市は、大学がないので子どもは進学することになれば市を離れると思うが、その後でも戻ってきたいと思える町にどうしたらできるか、精一杯努めたい。

■委員

SDGs 推進協議会選出。他にも、青年会議所の立場でさまざま経験してきた。まちづくりに思いを持っているが、経験豊富というわけでもなく専門家でもない。皆さんの力を借りながら努めたい。

■委員

福祉分野での選出。今年3月に市では介護保険事業計画等が作られた。先ほどの説明でも、下位計画と連携を図ると言われている。高齢化率が上がり、健康寿命のこともあり、その辺りを総合計画でどう連携していけるかと思う。

■委員

事故をきっかけに、いろいろな病院、恵那市民病院にも行ったが、看護師も先生も一生懸命やっていた。それをきっかけに、私は今まで働いてばかりいて、自分のことが中心だったが、参加したいと思った。

恵那は伝統的なところで、中山道、歴史があり、それにまつわるいろいろなものがある。昔はものすごく栄えたということ、もう一度復活させたい。そういう面の、観光、盛り上げのようなもの。中津川では、多くの外国人が中山道を歩いている。馬籠などではなく、坂本などの細い道を歩いている。そういうところに興味があるんだろうと思う。恵那も、そういったものをもう少し重要視して、人が流入してくるよう活性化を進めてほしい。子

どもたちからも提案などもしてもらえば。元々あったものをぜひ活用してほしい。

■委員

文化分野の選出。他の分野についても少しでも勉強して、多角的に物を見ていけたらと思う。

■委員

農業分野の選出。農業も衣食住の食の部分で大切なもの。農業の基本計画も自給自足や担い手、農地確保等がうたわれている。恵那市は、中山間地域の小さな田畑が多い。まとまった農業を継続していくというところでは、今年から地域計画が始まったが、整備された田んぼなど、将来的に誰が担い手となるかという計画を定めている。地産地消が大事だと考えている。

総合計画については、中津川坂本地区にリニア駅ができる関係で、この辺もリニアの影響が将来的に関わってまちづくりを進めていく必要があると考えている。

■委員

先生方の現状の教育に関する生の声と、子どもたち自身の生の声、親の生の声が全て聞ける。働く女性の部分では、30～40代ぐらいの母親たちで、コロナをきっかけに、ハンドメイドで利益を得るという仕事を始めた人が多い。ただ、イベントが増えて、同じようなことをする人が増えたので、一人当たりの利益が少しずつ減ってきたという不安も聞く。そういうことでも役に立ちたい。

■委員

こども園保育園保護者会連合会からの選出。こども園のことに関して、恵那市のことに少しでも還元したい。

■委員

教育分野での選出。子どもたちにどういう力を付けていくか、教育長を中心に考え、それをいろいろな先生に研修してもらっている。

今年1月に成人式があった。400名ほどの成人だった。昨年度生まれた子は、200人を切った。ということは、20年後には、成人は今年の半分の人数になる。どんどん子どもの数が減る。小さな学校がいっぱいできることになる。少ない人数の中でどういう力を付けるか、先生方は一生懸命考えている。それを教育委員会としてはバックアップをしながら応援態勢を組んでいる。

■委員

商工会議所からの選出。恵那市では、事業所の人材不足が問題になっている。同時に、外国人の労働者も増えているので、それも含めて注視していきたい。高校生の子どもがいる。職業柄中学校、高校に租税教室に行くこともある。子どもの教育、そういう子たちの未来に興味がある。またここで勉強しながら意見を述べていきたい。

■副会長

今、委員から思いを述べていただいた。さまざまな分野からこの審議会に参画していただいている。それぞれの立場から思いを伝えてもらいたいと思う。私は、恵那市地域自治区制度ができてから地域自治に関わっている。私の目から見ると、恵那市の行政と地域の関係性は、市からの押し付けではなく、また、地域からもお願いするだけでなく、行政と地域とが協働して課題解決に取り組んでいると思う。そういうところも参考にしながら、さまざまな分野の委員の意見を伺って、さらには、総合計画策定本部会議の皆さんの力も得ながら、それと、プロジェクトチームの若い職員の意見も頂きながら、共同してこの審議会で策定していきたい。

■議長（会長）

総合計画の策定を非常に楽しみにしている。先進地の総合計画に倣って分かりやすいものを作りたいという前向きなスタンスをお持ちだと思う。ぜひこれまでにない新しい形の総合計画になると良い。20 年先を見越した計画、これまでと違う総合計画を作ろうという姿勢が出ているので、その中で前向きな計画を作ってもらいたい。恵那市は魅力的な地。どこにでもあるものでなく、恵那市らしい総合計画、また、SDGs 未来都市になったので、それだからこそその総合計画を作っていただきたい。

各委員からそれぞれの関心を聞いた。事務局から何かあるか。

■副市長

策定本部というのは、総合計画の基礎資料を集めて、総合計画の骨子をまとめていく役割の組織。

20 年前、合併してすぐに、総合計画を作る担当を経験した。それから 20 年経った。今回、その 20 年という計画のスパンについて、本部会議ではさまざま議論があった。今まで 10 年計画だったのに、なぜ 20 年にするのかとか。20 年後というのは遠いようだが、比較的短いので 20 年で良いだろうと判断した。

リニア関連では、すでにリニア効果が出ている。恵那西工業団地の 1 区画は、千葉の市

川市から会社を誘致した。溶鉱炉の温度や酸素濃度を検知するセンサーを製造する 50 人規模の会社。今の会社が、建設から 50 年経過したことと、浸水地域にあることから、移転先を探していた。ベルギー本社からの指示は、浸水地域は絶対に避けること、いずれ来る東南海地震に備えること、できるだけ早くベルギー本社に来られることの 3 点だったとのこと。恵那市を選んだ理由を聞いたら、恵那市なら早くベルギーに行けるからということだった。セントレアではなくリニアで東京まで行き、東京から飛行機でベルギーに行くルートを見込んで進出したということだった。そういうことを盛り込みながら総合計画を作っていきたい。

委員全員が同じ目線ではないので、自分はこの分野をという思いでお話ししていただきたい。

(4) 会議の公開及び公表について

■議長（会長）

会議の公開及び公表について、事務局から説明を求める。

■事務局

本日の会議は公開としたが、次回以降についても、会議開催に先立って、公開・非公開を事前に公表することになっている。資料 NO. 3 の 12 ページ。

第 4 条に「会議の公開又は非公開の決定は、前条の基準に基づき、附属機関等の長が会議に諮って行う」と規定されているので、次回以降の公開・非公開の取扱いについて、決定していただきたい。

■議長（会長）

事務局案はあるか。

■事務局

要綱に基づき、会議は原則公開とし、個人情報を取り扱うなど運営に支障が生じそうな案件を扱う場合は、事務局と会長とで相談させていただき、公開・非公開を決定させていただいてもよいか。

■議長（会長）

事務局から原則公開という案が提示されたが、委員の皆さんはそれでよいか。

〔 「異議なし」の声あり 〕

■事務局

では、事務局案のとおりとする。

それでは、全ての議事が終了したので、進行を事務局に返す。

9 その他

(1) 個別ヒアリングのお願いについて

(2) 次回開催予定・・・12月

■事務局（進行）

1 時間半という短い時間だったが、皆様方からそれぞれお言葉を頂きありがとうございました。会長にも、スムーズな進行をいただき、ありがとうございました。

次回の審議会は12月を予定しているが、開催が必要となった場合には別途開催する場合もあるので御承知おきいただきたい。

また、12月までの間に、私どもが皆様方の方へ出向き、個別にヒアリングをして、それを汲み取って計画に盛り込んでいきたいと考えている。後日日程の調整させていただく。

10 閉会

■事務局（進行）

和仁副会長から閉会の挨拶をお願いします。

■副会長 これでする。次回12月に予定されている。各委員の分野を中心に意見を出し合い、それを基に策定に進めたい。

〔 閉 会 〕